

ウッドデザイン賞2022、 新たな顕彰制度として6月20日から応募開始！ ～本日、応募要項（第一版）を公表しました～



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2022

2022-6
PRESS RELEASE

2022年6月6日（月）

一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

「ウッドデザイン賞2022」は、新たな顕彰制度として6月20日からスタートします。
本日、応募要項（第一版）を公表いたしました。以下の公式サイトからダウンロードできます。

「ウッドデザイン賞2022」公式サイト <https://www.wooddesign.jp/>



SDGsやカーボンニュートラルへの取組が必須となっている今、森林や木材の利活用がクローズアップされています。

私たちは、木を使うことによって、社会課題の解決を目指す活動を、「ウッドデザイン」と定義しています。

「ウッドデザイン賞」は、木の良さや価値を、デザインの力で再構築することを目的として、優れた建築・空間や製品、活動や仕組み、研究等を募集・評価し、表彰する顕彰制度です。応募で第二次審査へ進出された場合、エントリー料をいただきます。

主催は昨年11月に設立された「一般社団法人日本ウッドデザイン協会」。木を積極的に使い社会を変革するために多様な企業・組織・団体が集った組織です。ウッドデザイン賞2022は民間の事業としてさまざまな取組と連動します。

～ウッドデザイン賞2022は新たな賞として生まれ変わります～

【ポイント1】 SDGsなど、時代のニーズに合わせ、3部門の審査ポイントを刷新します

ウッドデザイン賞2022では、SDGsへの貢献も見据えて、「木を活かした社会課題の解決」をめざす多様な取り組みを発掘し、広く表彰して参ります。新たなウッドデザイン賞の開催に伴い、3つの表彰部門の審査ポイントも社会課題の状況を合わせて、刷新します。

● 多様な社会課題の解決に貢献する「ウッドデザイン賞」の3つの部門

ライフスタイルデザイン部門——木を活かして質の高いライフ&ワークスタイルを提案しているものが対象

ハートフルデザイン部門——木を活かして心身を健やかにしてWell-beingの実現が期待されるものが対象

ソーシャルデザイン部門——木を活かして森林・林業や地域・社会の持続性を向上させているものが対象

【ポイント2】 木材利用への注目の高まりや新たな潮流に合わせて分野を5分野へ拡充。「技術・建材分野」を新設し、全分野のカテゴリに「新領域」を設けます。1つの作品で複数の分野への応募が可能になります。

SDGsやカーボンニュートラルといった、実現への要請が高まる中で、森林・林業・木材分野への社会の注目はますます高まっています。今後も、新たな技術開発や異分野からの参入等により、新たな木材利用が広がっていくと予想されます。

ウッドデザイン賞2022では、これまでの「建築・空間・建材・部材分野」「木製品分野」「コミュニケーション分野」「技術・研究分野」の4分野を改変し、新たに「技術・建材分野」を新設しました。さらに全分野に新たなカテゴリとして「新領域」を創設。多様な技術開発・異分野技術の導入事例を広く募集し、木材利用の大きなイノベーションを促進したいと考えています。

また、近年では、建築・空間や木製品等のデザインは、「モノ+コト」を一体化した提案が増えています。こうした傾向を受け、1つの作品を複数分野でエントリーできるようにしました。

【ポイント3】 木材利用の多様化を踏まえて、「最優秀賞」を複数点、選定します（予定）

SDGsや脱炭素社会の実現への要請が高まるとともに、2021年6月に「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が制定される中で、多様な分野での木材利用が広がりを見せています。SDGs等の多様性の時代に合わせて、「最優秀賞」は複数点選定される予定としております。またテーマごとの特別賞の設置も予定しております。詳細は追って公表いたします。

～実施概要～

■名称：ウッドデザイン賞2022

■応募受付期間：2022年6月20日（月）10:00～7月31日（日）18:00

■応募対象分野：建築・空間、技術・建材、木製品、コミュニケーション、調査・研究等、木に関するあらゆるモノ・コトが対象

■表彰部門

ライフスタイルデザイン部門～木を活かして質の高いライフ&ワークスタイルを提案しているものが対象

ハートフルデザイン部門～木を活かして心身を健やかにしてWell-beingの実現が期待されるものが対象

ソーシャルデザイン部門～木を活かして森林・林業や地域・社会の持続性を向上させているものが対象

■賞の構成

最優秀賞／数点（※現在調整中）、優秀賞／数点×3部門、奨励賞／数点×3部門

ウッドデザイン賞（入賞）／二次審査を通過したものすべて

※その他、テーマ別の特別賞等も設置予定です。詳細は追って発表いたします。

■エントリー料

1件につき55,000円（消費税込）

第一次審査は無料です。第一次審査を通過し、第二次審査進出の作品はエントリー料をいただきます。

ただし以下の場合、金額が異なります。

◆中小企業、個人事業主、自治体、非営利法人の場合：1件につき、33,000円（消費税込）※条件があります

◆同一作品を複数分野に応募する場合：2分野以降は半額

◆調査・研究分野への応募：無料

◆一般社団法人日本ウッドデザイン協会の特別会員（自治体、公益的機関等）：無料

■スケジュール（予定）

2022年6月20日～7月31日	応募期間
8月18日	第一次審査結果通知
8月19日～8月31日	第二次審査申請（書類）、エントリー料振込期間
9月14日～9月28日	第二次審査期間（現物等審査）
10月6日	ウッドデザイン賞（入賞）結果通知・発表
11月9日	最優秀賞、優秀賞、奨励賞等 発表

同時募集：「あなたのおすすめウッドデザイン」をご紹介します！

ウッドデザイン賞2022の募集に合わせ、「これはウッドデザインにふさわしいのではないか」「このデザインが素晴らしい」といったおすすめの商品をご紹介します。QRコードを読み込んでいただくご紹介のフォームに入ります。ご紹介いただいた方から抽選で素敵な商品をプレゼントします。期間6月6日～6月30日



主催団体：一般社団法人日本ウッドデザイン協会について

木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義し、「ウッドデザイン」に関わるあらゆる分野において、調査、研究、開発、事業創造、普及及び啓発することを目的として設立された団体（一般社団法人）です。

会員相互の連携並びにあらゆるステークホルダーとの対話及び協力によって、木のある豊かな暮らし、木材利用、森林・林業の成長産業化及び地方創生を推進して、カーボンニュートラルやSDGsへの貢献、持続可能な社会の実現を目指しています。



JWDA
もっと、木と

名称 一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
英文名 Japan Wood Design Association（略称：JWDA）
設立 2021年11月18日
所在地 東京都港区新橋3-5-2 新橋OWKビル6階
会長 隈 研吾
会員 118（企業、団体、自治体等、2022年5月時点）

「ウッドデザイン賞」公式ウェブサイト

<https://www.wooddesign.jp/> ★最新情報を随時公開しています★

「ウッドデザイン賞」公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/wooddesignaward/>

ACCESS

●本件に関するお問い合わせ先

日本ウッドデザイン協会内「ウッドデザイン賞」運営事務局（担当：高橋）

E-mail：press2022@wooddesign.jp